

兵庫県下の経済動向

平成30年10月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、一部に台風などの天候の影響がみられるものの、基調としては緩やかに拡大している。

輸出は増加基調にあり、個人消費は、台風などの天候の影響がみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

また、設備投資は高水準で推移し、住宅投資は弱めの動きとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が前年を下回った。

家電販売は、前年を下回った。

乗用車新車登録台数は、前年を上回った。

設備投資は、高水準で推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共工事請負金額は、前年を下回った。

貿易は、中国を始めとするアジア向けを中心に増加したため、輸出は前年を上回った。輸入についても、前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、前年を下回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

兵庫C I及び兵庫D Iから見た県内の景気動向

7月の兵庫C Iは、先行指数 102.8、一致指数 114.4、遅行指数 102.3 となった。

7月の兵庫D Iは、先行指数 50.0%、一致指数 37.5%、遅行指数 25.0%となった。

兵庫C Iは、先行指数が4か月ぶりに前月差減、一致指数が2か月ぶりに前月差減、遅行指数は5か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、横ばい局面を示している。」としている。

*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

8月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は101.4、前月比3.5%増で2か月ぶりに増加、出荷指数は103.2、同4.9%増で2か月ぶりに増加、在庫指数は115.4、同0.3%増で2か月連続して増加した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比1.8%減で3か月連続で減少、出荷は同0.3%減、2か月ぶりに減少、在庫は同2.0%増で14か月連続で増加した。

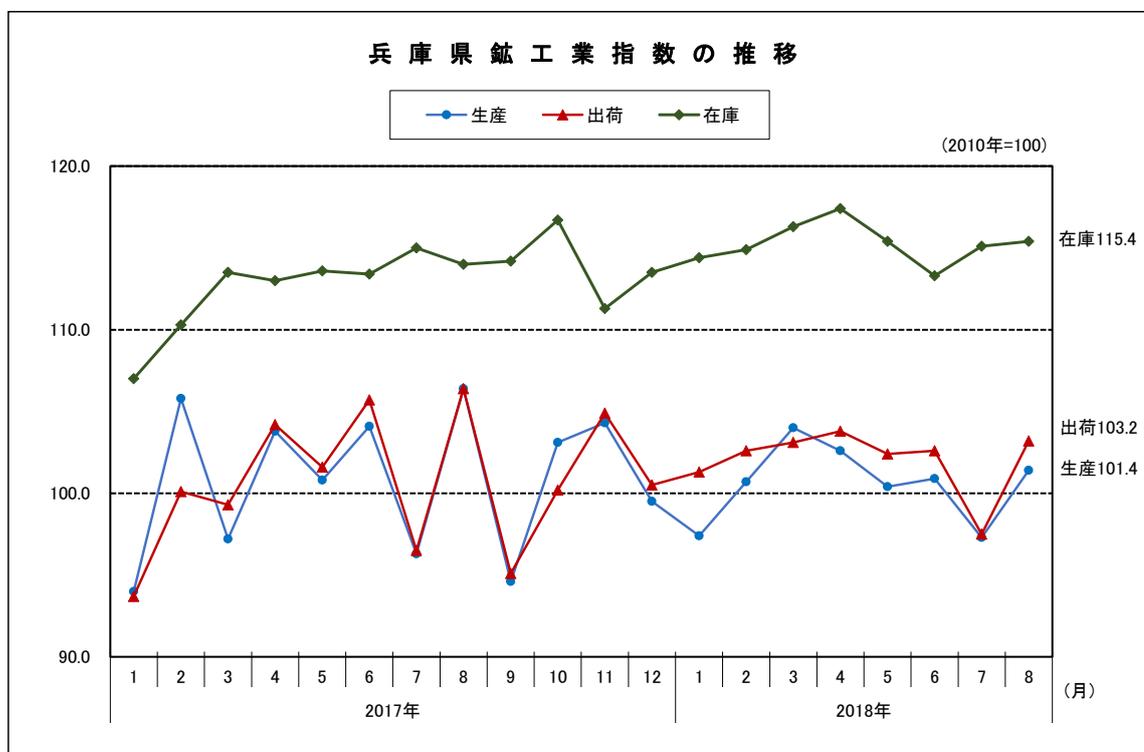
主要業種の生産動向を対前月比でみると、「鉄鋼業」(鋼半製品等)が5.4%、「金属製品工業」(ガス温水給湯暖房機等)が0.0%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(圧縮機等)が20.2%、「電気機械工業」(非標準油入り変圧器(1万kVA以上)等)が5.1%、「窯業・土石製品工業」(遠心力鉄筋コンクリート管等)が0.9%、「化学工業」(医薬品等)が0.7%各々増加し、「情報通信機械工業」(カーナビゲーション等)が2.0%、「輸送機械工業」(発動機部品等)が6.4%、「食料品工業」(清酒等)が1.9%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「一進一退で推移している。」とした。

8月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
			原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	101.4	3.5	92.8	▲ 1.8
出 荷	103.2	4.9	96.1	▲ 0.3
在 庫	115.4	0.3	119.5	2.0
在 庫 率	154.1	2.4	159.0	10.6

資料：兵庫県企画県民部統計課



8月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	95.5	5.4	上昇	鋼半製品、粗鋼、H形鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材
			低下	亜鉛めっき鋼板、鉄系鍛工品、鍛工品、普通鋼鋼帯
金属製品 工業	89.1	0.0	上昇	ガス温水給湯暖房機、ガス風呂がま、石油温水給湯暖房機、うす板ばね
			低下	超硬チップ、ねじり棒ばね、ガス湯沸器、PC鋼より線
はん用・生産 用・業務用 機械工業	102.3	20.2	上昇	圧縮機、はん用内燃機関、ショベル系掘削機械、ボイラ部品
			低下	機械式駐車装置、自動調整弁、熱交換器、建設用クレーン
電気機械 工業	131.0	5.1	上昇	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、開閉制御装置、一般用エンジン発電機、一般用タービン発電機
			低下	リチウムイオン蓄電池、電力変換装置、保護継電器、電気がま
情報通信 機械工業	109.2	▲ 2.0	上昇	ノート型パソコン、搬送装置、携帯電話、入出力装置
			低下	カーナビゲーション、テレメータ・テレコントロール、レーダ装置、固定通信装置
輸送機械 工業	125.8	▲ 6.4	上昇	船用ディーゼル機関、駆動伝導・操縦装置部品、機体部品、懸架制動装置部品
			低下	発動機部品、旅客車、特装ボデー、内燃機関電装品
窯業・土石 製品工業	106.6	0.9	上昇	遠心力鉄筋コンクリート管、ファインセラミックス(構造材)、ほうろう鉄器製品、ガラス製容器類
			低下	セメント、複層ガラス、耐火れんが、道路用コンクリート製品
化学工業	108.5	0.7	上昇	医薬品、化粧品、酢酸(99%換算)、シクロヘキサン
			低下	塩化ビニル樹脂、二塩化エチレン、無水酢酸、自動車排気ガス浄化用触媒
食料品工業	88.3	▲ 1.9	上昇	ビール類、精米、肉製品、パン類
			低下	清酒、しょうゆ、冷凍調理食品、配合飼料

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会がまとめた8月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比5.3%減の106億73百万円と、12か月連続で前年実績を下回った。

同月下旬の台風20号の影響で多くの店舗が閉店時間を大幅に繰り上げたほか、休日が1日少なかったことなどが影響した。

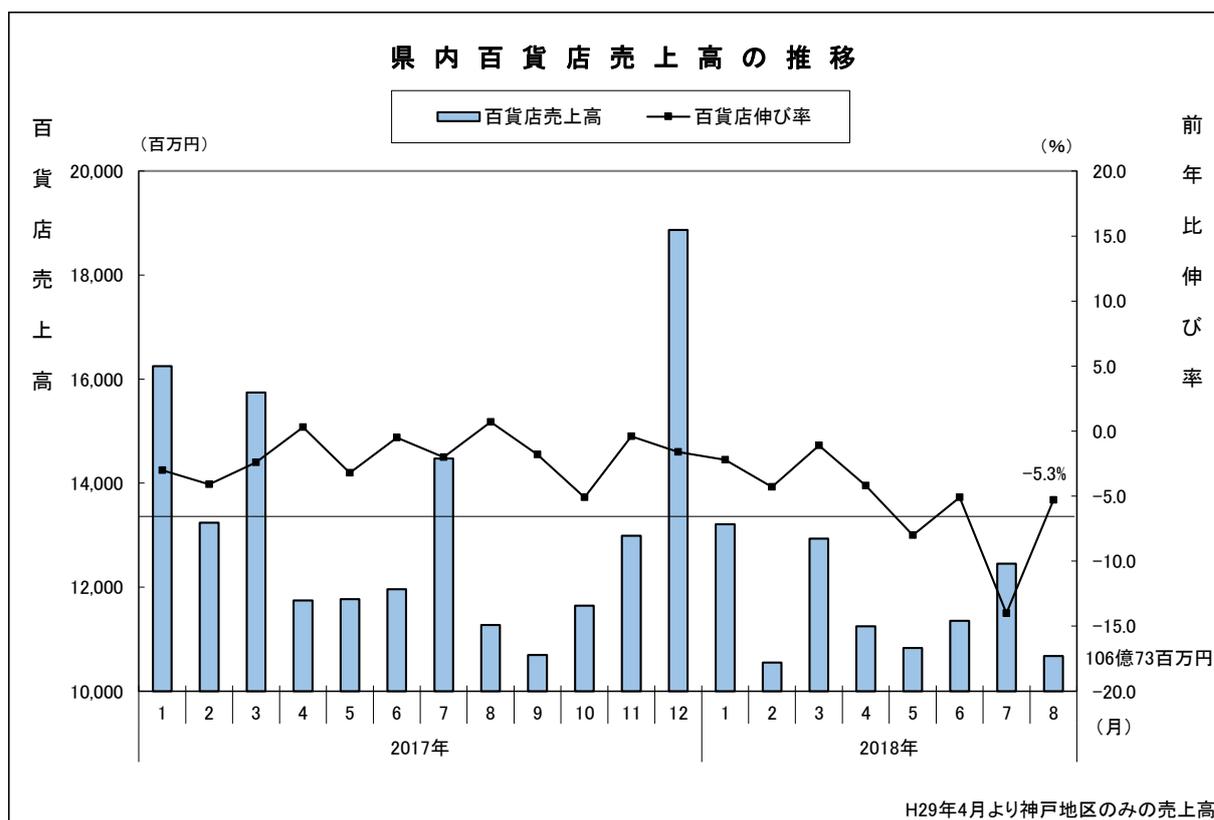
特に富裕層消費が伸び悩み、「美術・宝飾・貴金属」が32.1%減と大幅に減少。海外高級ブランドのかばんや靴を含む「身のまわり品」も6.0%減だった。衣料品では「婦人服・洋品」が8.3%減、「子供服・洋品」が1.4%減と振るわなかった。

一方、「紳士服・洋品」は15.3%増で好調を維持。同協会は「猛暑の影響でビジネス関連の夏物の買い足しがあったとみられる」と分析する。

8月の神戸地区の百貨店売上高

品 目	売上高	前年同月比
紳 士 服 ・ 洋 品	436	15.3
婦 人 服 ・ 洋 品	2,957	▲ 8.3
子 供 服 ・ 洋 品	218	▲ 1.4
そ の 他 衣 料 品	189	▲ 1.1
身 の ま わ り 品	870	▲ 6.0
雑 貨	1,827	▲ 11.4
家 庭 用 品	357	▲ 1.5
食 料 品	3,384	▲ 1.8
食 堂 ・ 喫 茶	322	▲ 8.8
サ ー ビ ス	45	▲ 24.0
そ の 他	64	▲ 42.6
計	10,673	▲ 5.3

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、% 資料：日本百貨店協会



【個人消費】『新車登録』

県内9月の乗用車新車登録台数は16,654台、前年同月比0.8%減と2か月ぶりに前年同月の実績を下回った。

9月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は6,615台(前年同月比1.4%増)、小型乗用車は4,169台(同7.5%減)、軽乗用車は5,870台(同2.0%増)、乗用車合計で16,654台(同0.8%減)となった。

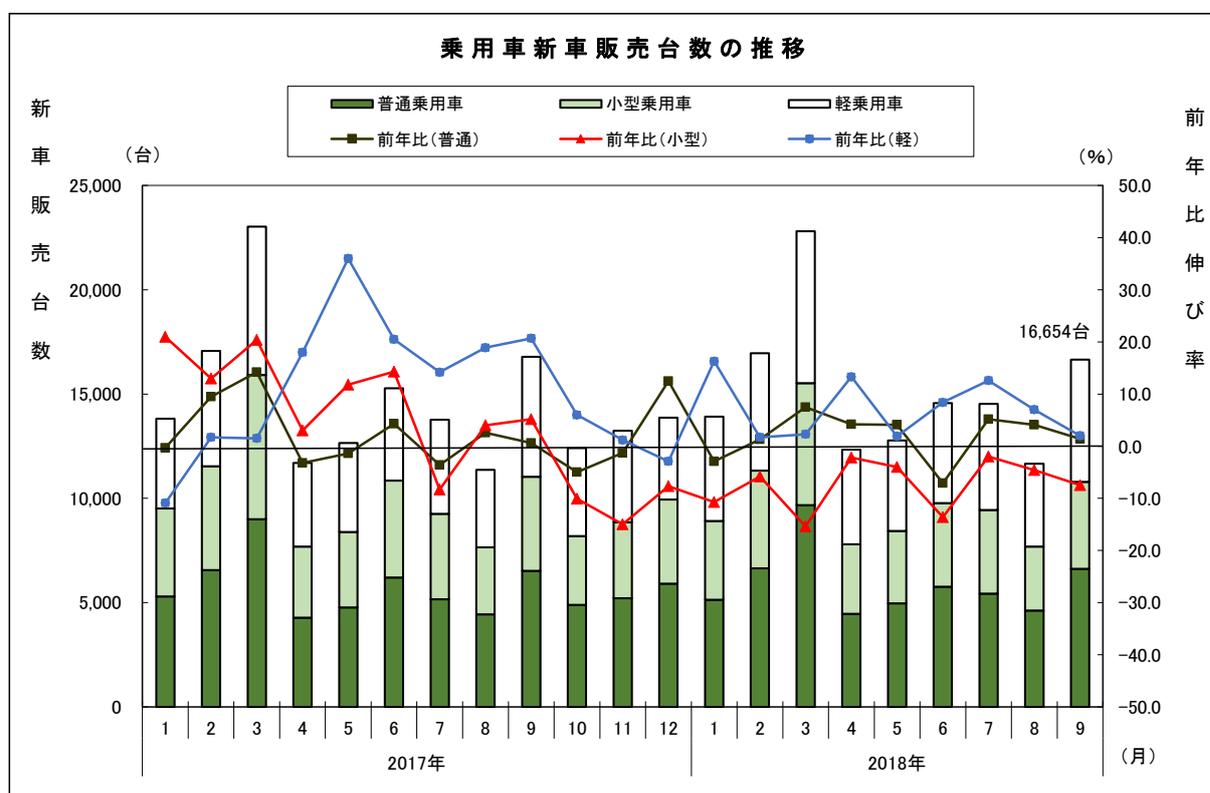
また貨物車等では、普通貨物車は600台(前年同月比29.6%増)、小型貨物車は714台(同14.9%減)、軽貨物車は1,337台(同0.8%増)、バスは42台(同27.3%増)となった。

9月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	6,615	1.4	152,075	2.8
小型乗用車	4,169	▲ 7.5	112,984	▲ 11.8
軽乗用車	5,870	2.0	138,988	▲ 2.0
乗用車合計	16,654	▲ 0.8	404,047	▲ 0.3
普通貨物車	600	29.6	18,866	15.5
小型貨物車	714	▲ 14.9	23,121	▲ 6.3
軽貨物車	1,337	0.8	38,053	8.1
貨物車合計	2,651	0.8	80,040	5.0
バス	42	27.3	1,278	14.1
登録車総計	19,347	▲ 0.5	485,365	▲ 2.0

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が10月10日に発表した機械受注統計によると、平成30年8月実績は以下のとおり。

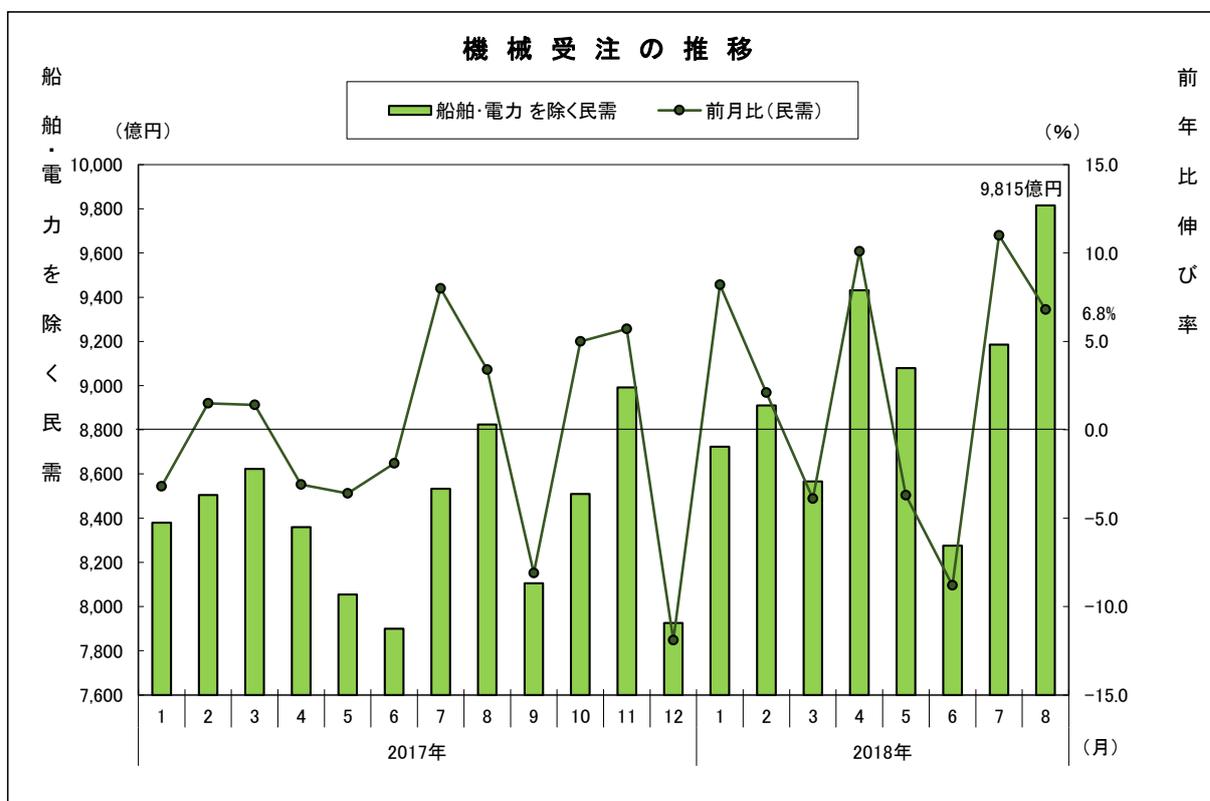
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成30年7月前月比18.8%増の後、8月は同1.8%増の2兆6,765億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、7月前月比11.0%増の後、8月は同6.8%増の9,815億円となった。

内訳をみると、製造業は同6.6%増の4,551億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同6.0%増の5,235億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、鉄鋼業(85.3%増)、繊維工業(36.8%増)、金属製品(32.6%増)、情報通信機械(26.5%増)、自動車・同付属品(17.7%増)、業務用機械(13.6%増)、造船業(12.5%増)、化学工業(9.5%増)、電気機械(5.2%増)、「その他製造業」(4.4%増)、非鉄金属(2.8%増)等の10業種で、はん用・生産用機械(3.3%減)、パルプ・紙・紙加工品(15.0%減)、その他輸送用機械(21.0%減)、食品製造業(26.1%減)、窯業・土石製品(32.3%減)、石油製品・石炭製品(52.9%減)等の6業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業(64.2%増)、リース業(23.5%増)、建設業(12.7%増)、金融業・保険業(9.2%増)、農林漁業(7.5%増)、情報サービス業(5.8%増)等の6業種で、「その他非製造業」(4.9%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(6.2%減)、通信業(14.2%減)、電力業(14.6%減)、卸売業・小売業(15.5%減)、不動産業(19.3%減)等の6業種は減少となった。



機 械 受 注 統 計 (平成 30 年 8 月分)

	2017年 7～9月 実績	10～12月 実績	2018年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 見通し	2018年 5月 実績	6月 実績	7月 実績	8月 実績
受注総額	72,307 (6.3) [13.0]	75,185 (4.0) [3.6]	71,213 (-5.3) [4.6]	73,094 (2.6) [6.3]	75,129 (2.8) [5.8]	25,875 (3.2) [15.4]	22,139 (-14.4) [-3.4]	26,304 (18.8) [11.5]	26,765 (1.8) [5.2]
民 需	30,525 (5.7) [1.6]	31,466 (3.1) [-4.1]	30,372 (-3.5) [0.6]	31,806 (4.7) [9.2]	32,378 (1.8) [8.4]	10,929 (3.2) [17.4]	10,289 (-5.9) [0.8]	11,435 (11.1) [18.5]	11,883 (3.9) [17.6]
〃 (Ex 船・電)	25,289 (2.8) [-2.5]	25,366 (0.3) [0.0]	26,198 (3.3) [0.2]	26,786 (2.2) [8.0]	26,714 (-0.3) [6.4]	9,079 (-3.7) [16.5]	8,276 (-8.8) [0.3]	9,186 (11.0) [13.9]	9,815 (6.8) [12.6]
製造業	11,467 (6.2) [9.2]	11,873 (3.5) [13.3]	12,168 (2.5) [10.6]	12,835 (5.5) [17.8]	13,477 (5.0) [18.7]	4,538 (1.3) [26.2]	3,818 (-15.9) [6.6]	4,268 (11.8) [21.2]	4,551 (6.6) [13.9]
非製造業 (Ex 船・電)	13,897 (0.0) [-10.1]	13,602 (-2.1) [-9.7]	14,070 (3.4) [-6.9]	14,019 (-0.4) [0.3]	13,503 (-3.7) [-2.5]	4,787 (0.2) [8.4]	4,454 (-7.0) [-4.6]	4,941 (10.9) [7.7]	5,235 (6.0) [11.6]
官 公 需	7,959 (11.6) [1.0]	7,562 (-5.0) [-12.7]	7,075 (-6.4) [-7.8]	7,607 (7.5) [1.1]	7,747 (1.8) [3.7]	2,740 (6.1) [36.4]	2,284 (-16.7) [-17.1]	3,587 (57.0) [34.1]	2,830 (-21.1) [-3.6]
外 需	30,806 (8.8) [32.6]	30,985 (0.6) [17.7]	30,471 (-1.7) [14.3]	30,086 (-1.3) [5.4]	31,698 (5.4) [4.6]	10,512 (1.8) [11.6]	9,250 (-12.0) [-3.2]	9,801 (6.0) [1.2]	10,569 (7.8) [-2.7]
代 理 店	3,695 (-2.6) [4.7]	3,644 (-1.4) [2.8]	3,656 (0.3) [1.7]	3,835 (4.9) [0.0]	3,715 (-3.1) [-1.5]	1,375 (5.5) [7.3]	1,157 (-15.8) [-10.3]	1,285 (11.0) [4.5]	1,218 (-5.2) [-2.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内8月の新設住宅着工総数は2,506戸(前年同月比16.9%減)となり前年を下回ったが、前月比では394戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が809戸(前年同月比4.5%減)、「貸家」が939戸(同14.1%減)、「分譲住宅」が755戸(同28.6%減)となった。

8月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

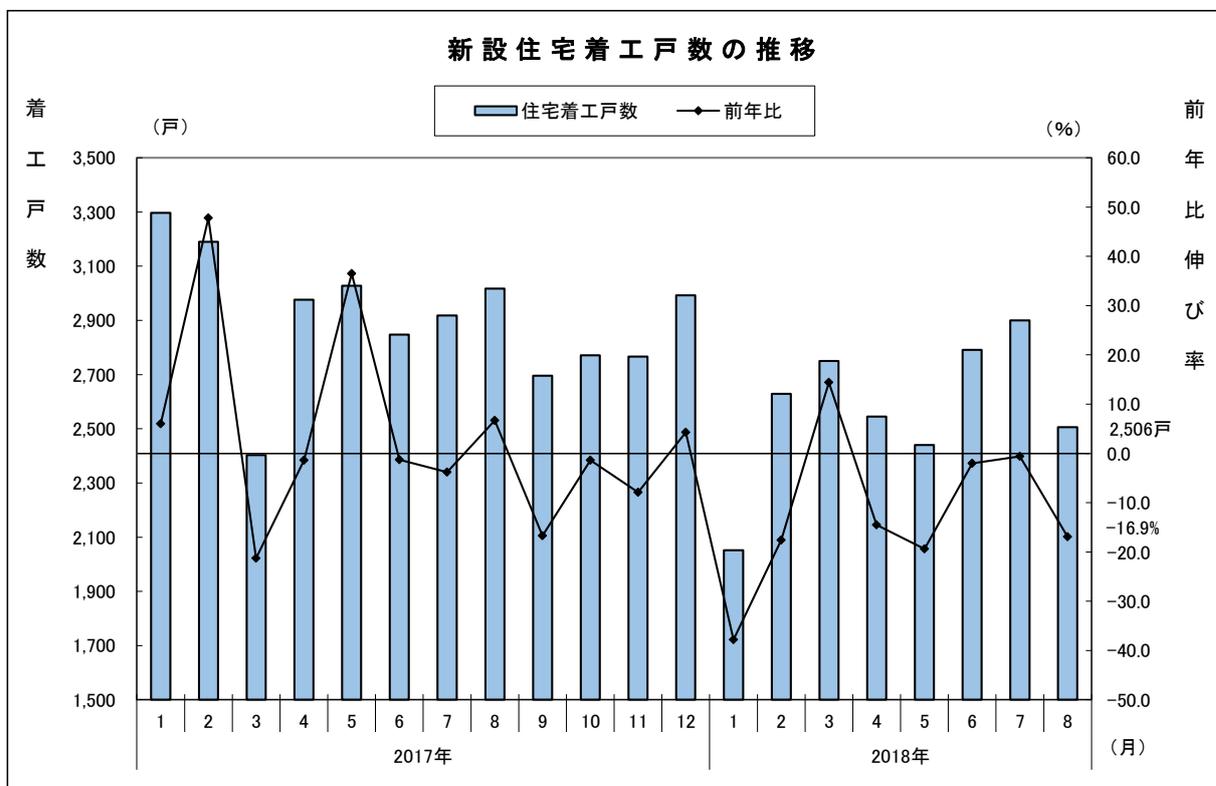
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	809	▲ 4.5	24,420	0.2
・分譲住宅	755	▲ 28.6	21,325	2.9
貸家系・貸家	939	▲ 14.1	35,457	1.4
・給与住宅	3	▲ 84.2	658	35.1
総数	2,506	▲ 16.9	81,860	1.6

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

8月の地域別着工戸数 (単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	365	715	327	360	142	323	86	55	94	39	2,506
前月比	▲54.2	21.6	39.7	▲22.7	▲7.8	▲25.2	▲22.5	▲15.4	224.1	62.5	▲13.6

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

9月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は485件で前年同月比26.4%の減少、請負金額は287億41百万円で前年同月比27.0%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市を除く市町」前年同月比12.6%、「兵庫県」同12.9%、「独立行政法人等」同46.3%、「その他の団体」同51.4%、「国」同51.6%、「神戸市」同64.9%の減少となったため、前年同月比27.0%の減少となった。

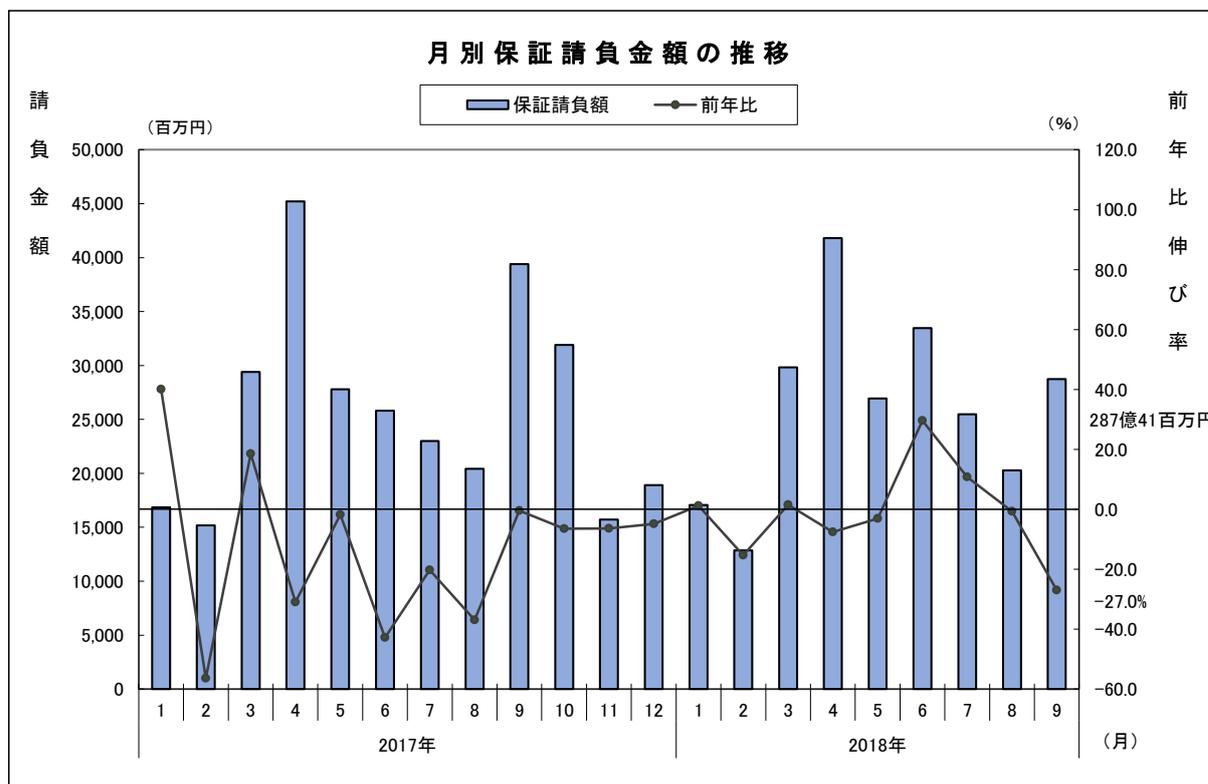
地域別(金額ベース)では、阪神北(前年同月比0.9%増)が増加したが、淡路(同13.3%減)、中播磨(同16.2%減)、阪神南(同16.9%減)、東播磨(同26.9%減)、西播磨(同27.7%減)、神戸市(同32.3%減)、但馬(同33.1%減)、丹波(同34.8%減)、北播磨(同67.5%減)が減少したため、前年同月比27.0%の減少となった。

9月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	29(▲34.1)	1,896(▲51.6)	中国横断自動車道角亀工事
独立行政法人等	11(▲8.3)	1,985(▲46.3)	
兵庫県	227(▲21.5)	13,405(▲12.9)	宮知第12号 宝塚健康福祉事務所・阪神シニアカレッジ建築工事 他2件
神戸市	31(▲41.5)	1,268(▲64.9)	
神戸市を除く市町	157(▲32.9)	8,957(▲12.6)	甲山幹線(第2工区)布設替工事 他3件
その他の団体	30(▲11.1)	1,228(▲51.4)	
合計	485(▲26.4)	28,741(▲27.0)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成30年9月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,812億円、前年同月比9.6%の減少で、総額ベースで20か月ぶりに減少となった。輸出は自動車の部分品などが増加したものの、建設用・鉱山用機械、原動機などが減少した。一方、輸入は有機化合物などが増加したものの、たばこ、輸送用機器などが減少した。

輸出は4,386億円(前年同月比10.8%減)と7か月ぶりに減少した。

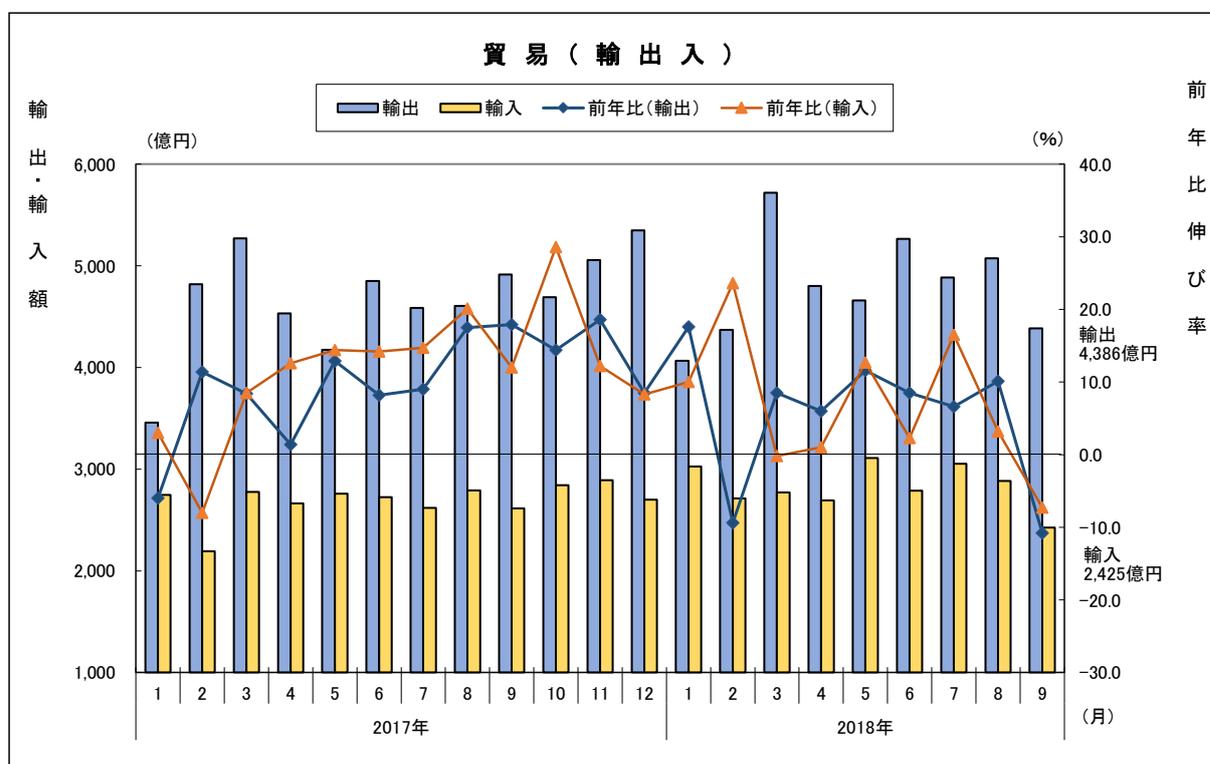
主要品目では、プラスチック(前年同月比5.3%減、7か月ぶりにマイナス)、織物用糸及び繊維製品(同6.0%減、2か月連続マイナス)、原動機(同16.9%減、4か月ぶりにマイナス)、建設用・鉱山用機械(同30.9%減、7か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(前年同月比4.9%減、7か月ぶりにマイナス)、中国(同6.4%減、7か月ぶりにマイナス)、米国(同13.9%減、3か月ぶりにマイナス)、EU(同27.5%減、7か月ぶりにマイナス)が減少した。

輸入は2,425億円(前年同月比7.3%減)と6か月ぶりに減少した。

主要品目では、有機化合物(前年同月比25.8%増、3か月連続プラス)、衣類及び同附属品(同9.1%増、2か月ぶりにプラス)、非鉄金属(同3.9%増、23か月連続プラス)が増加したが、たばこ(同28.5%減、2か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比15.0%増、6か月連続プラス)、アジア(同7.3%増、6か月連続プラス)が増加し、米国(同11.8%減、8か月連続マイナス)、EU(同25.2%減、2か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

9月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が101.4(2015年=100)となり、前月比は0.3%、前年同月比は0.6%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は100.9となり、前月比0.1%、前年同月比は0.3%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く指数は101.2となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.1%の増加となった。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの減少により「教養娯楽」が2.0%、交通などの減少により「交通・通信」が0.6%、家事用消耗品などの減少により「家具・家事用品」が0.5%、医薬品・健康保持用摂取品などの減少により「保健医療」が0.3%、理美容用品などの減少により「諸雑費」が0.1%減少した。

一方、野菜・海藻などの増加により「食料」が1.3%、シャツ・セーター・下着類などの増加により「被服及び履物」が4.9%、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.4%増加した結果、総合指数では0.3%の増加となった。

○対前月比値上がりした主な品目

野菜・海藻 (4.7%)・・・トマト、きゅうり
 シャツ・セーター・下着類 (10.0%)・・・男子用スポーツシャツ(半袖)
 婦人用Tシャツ(半袖)

○対前月比値下がりした主な品目

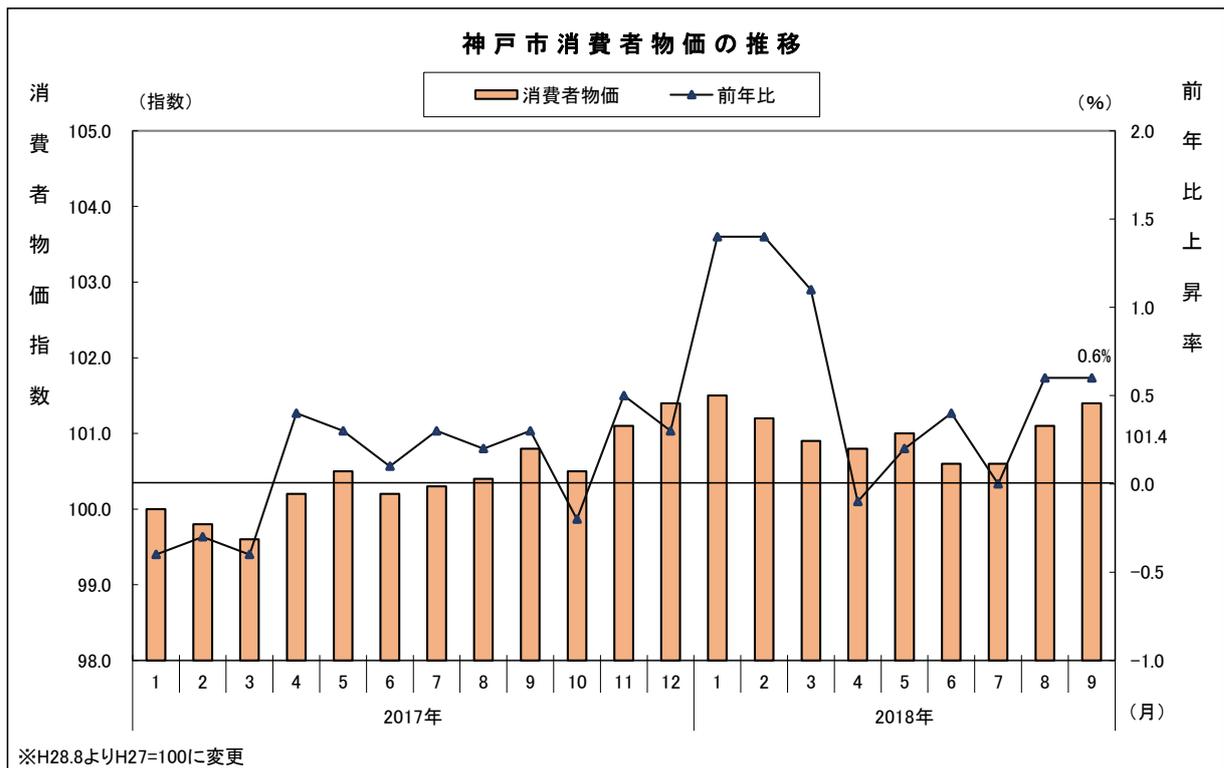
教養娯楽サービス (▲3.3%)・・・宿泊料、ウェブコンテンツ利用料
 交通 (▲2.3%)・・・航空運賃、料金(JR、新幹線)

9月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	101.4	104.9	100.3	95.4	95.8	101.3	103.7	99.3	103.2	100.5	102.3	100.9	101.2
前月比	0.3	1.3	0.0	0.4	▲0.5	4.9	▲0.3	▲0.6	0.0	▲2.0	▲0.1	0.1	0.1
前年同月比	0.6	2.0	▲0.2	0.7	▲1.0	▲3.0	1.0	1.1	0.9	▲0.2	0.4	0.3	0.1

(注)2015年=100

資料：兵庫県統計課



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が10月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2018年9月の企業物価指数は次のとおり。

9月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

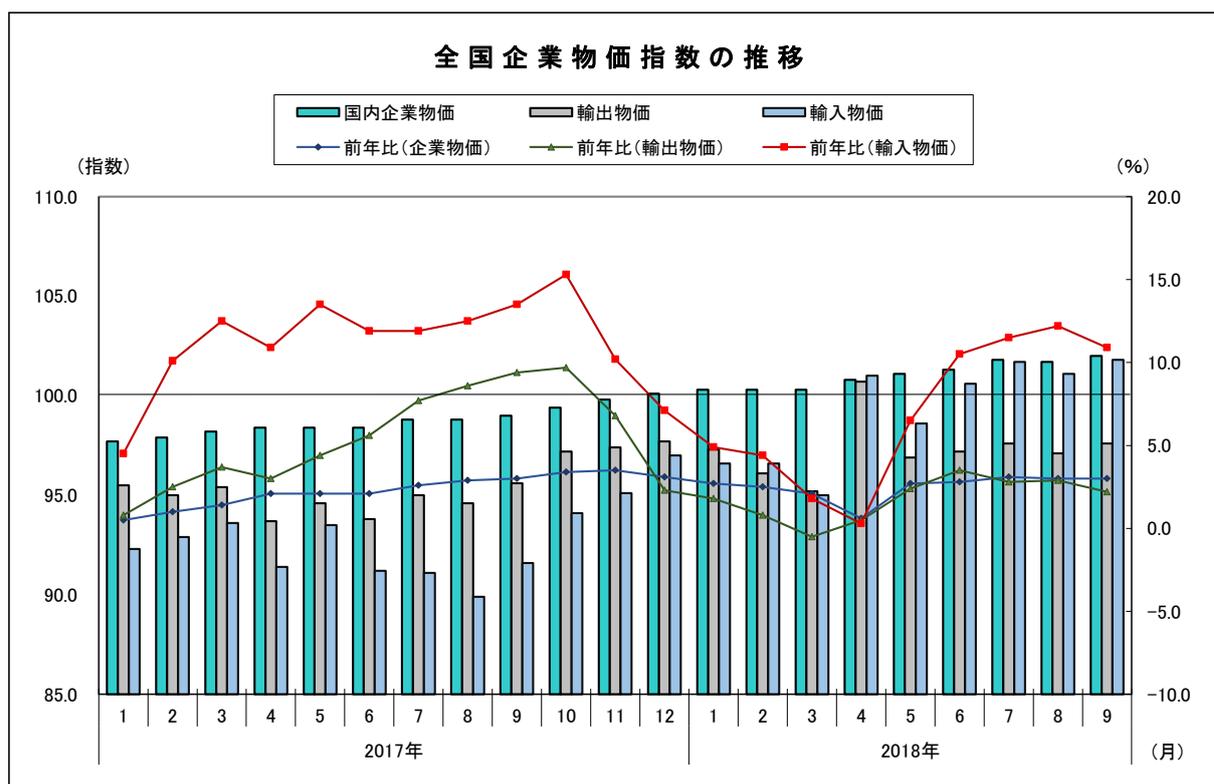
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.0	0.3	3.0
輸 出 物 価	97.6	0.6	2.2
輸 入 物 価	101.8	0.7	10.9

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、非鉄金属（前月比0.5%減＜アルミニウム合金・同二次合金地金など＞）、農林水産物（同0.6%減＜豚肉など＞）等が減少したが、石油・石炭製品（同2.3%増＜ガソリンなど＞）、化学製品（同0.6%増＜パラキシレンなど＞）、金属製品（同0.3%増＜鉄骨など＞）、生産用機器（同0.4%増＜金属圧延用ロールなど＞）、スクラップ類（同1.7%増＜鉄くずなど＞）、電力・都市ガス・水道（同0.7%増＜産業用特別高圧電力など＞）等が増加し、円ベースでは前月比0.3%の増加（前年同月比3.0%増）となった。

輸出物価は、はん用・生産用・業務用機器（前月比0.1%減＜半導体製造装置など＞）等が減少したが、化学製品（同3.3%増＜パラキシレンなど＞）、金属・同製品（同0.1%増＜銅地金など＞）、電気・電子機器（同0.0%増＜モス型メモリ集積回路など＞）、輸送用機器（同0.5%増＜普通自動車(ガソリン車)など＞）、その他産品・製品（同0.8%増＜古紙など＞）等が増加し、円ベースでは前月比0.6%の増加（前年同月比2.2%増）となった。

輸入物価は、飲食料品・食料用農水産物（前月比0.9%減＜鶏肉など＞）、繊維品（同0.2%減＜男子用ズボン類など＞）、金属・同製品（同0.5%減＜銅鉱など＞）等が減少したが、石油・石炭・天然ガス（同1.6%増＜液化天然ガスなど＞）、化学製品（同1.0%増＜飽和ポリエステル樹脂など＞）、その他産品・製品（同0.4%増＜プラスチックフィルム・シートなど＞）等が増加し、円ベースでは前月比0.7%の増加（前年同月比10.9%増）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内8月の新規求人数(全数)は、36,364人(前年同月比5.2%増)で、35か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は101,855人(同6.7%増)で100か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比5.5%増で7か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同4.6%増で32か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同7.9%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比21.1%増)、製造業(同9.4%増)、運輸業、郵便業(同17.2%増)、卸売業、小売業(同0.8%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同8.4%増)、医療、福祉(同2.9%増)、サービス業(同4.8%増)は増加したが、学術研究、専門・技術サービス業(同0.6%減)、宿泊業、飲食サービス業(同5.4%減)は減少した。

(2) 求職状況

8月の新規求職申込件数(全数)は15,888件(前年同月比5.9%減)で11か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、71,788人(同5.0%減)で99か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比7.8%減で24か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同2.3%減で3か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比3.3%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比9.4%減で11か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同5.9%減で5か月連続して減少した。自己都合離職者は同7.8%減で33か月連続して前年を下回り、自営・他は同21.7%減で9か月連続して前年を下回った。無業者は同3.2%減で80か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、20,678人(前年同月比2.0%増)で2か月連続して前年を上回った。

(3) 求人倍率状況

8月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が2.09倍(前月比0.11ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率が1.46倍で前月を0.01ポイント上回った。

(4) 失業者の状況

8月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.4%、完全失業者数(原数値)は170万人(前年同月比19万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.0%(前年同月比0.1ポイント増)で、完全失業者数(原数値)は33万人(前年同月差1万人増)であった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
30年8月	36,364	3,020	4,957	263	1,851	4,383	170	840	833	2,987	1,201	10,018	4,728
前年同月比	5.2	21.1	9.4	▲12.0	17.2	0.8	▲25.4	31.0	▲0.6	▲5.4	8.4	2.9	4.8

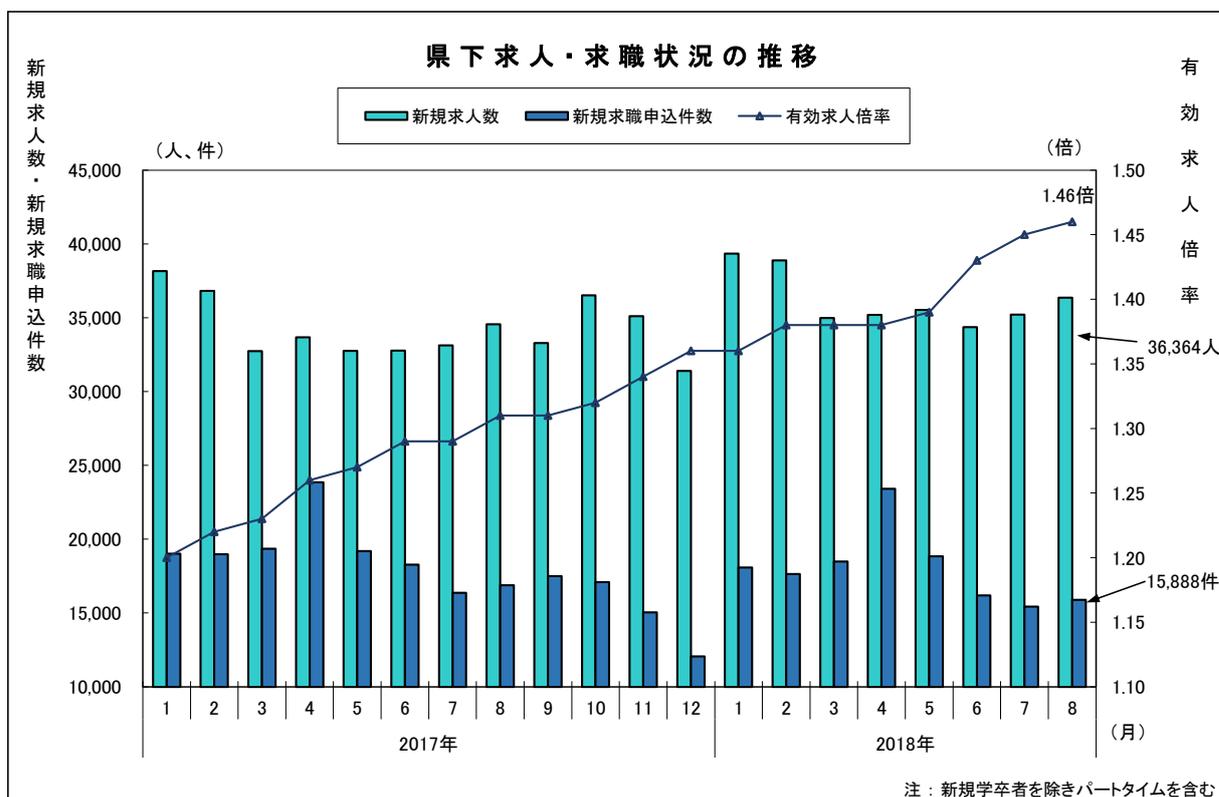
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	17/7-9	17/10-12	18/1-3	18/4-7	18/7	18/8
有効求人倍率 (季調済、倍)	1.30	1.33	1.37	1.40	1.45	1.46
新規求人数 (原数値、前年比%)	6.0	9.7	5.2	5.9	6.3	5.2
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	0.6	▲0.7	4.7	9.3	6.3	9.6
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	▲1.0	▲0.6	0.3	0.5	1.1	1.0
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	1.8	1.2	2.3	1.3	2.1

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

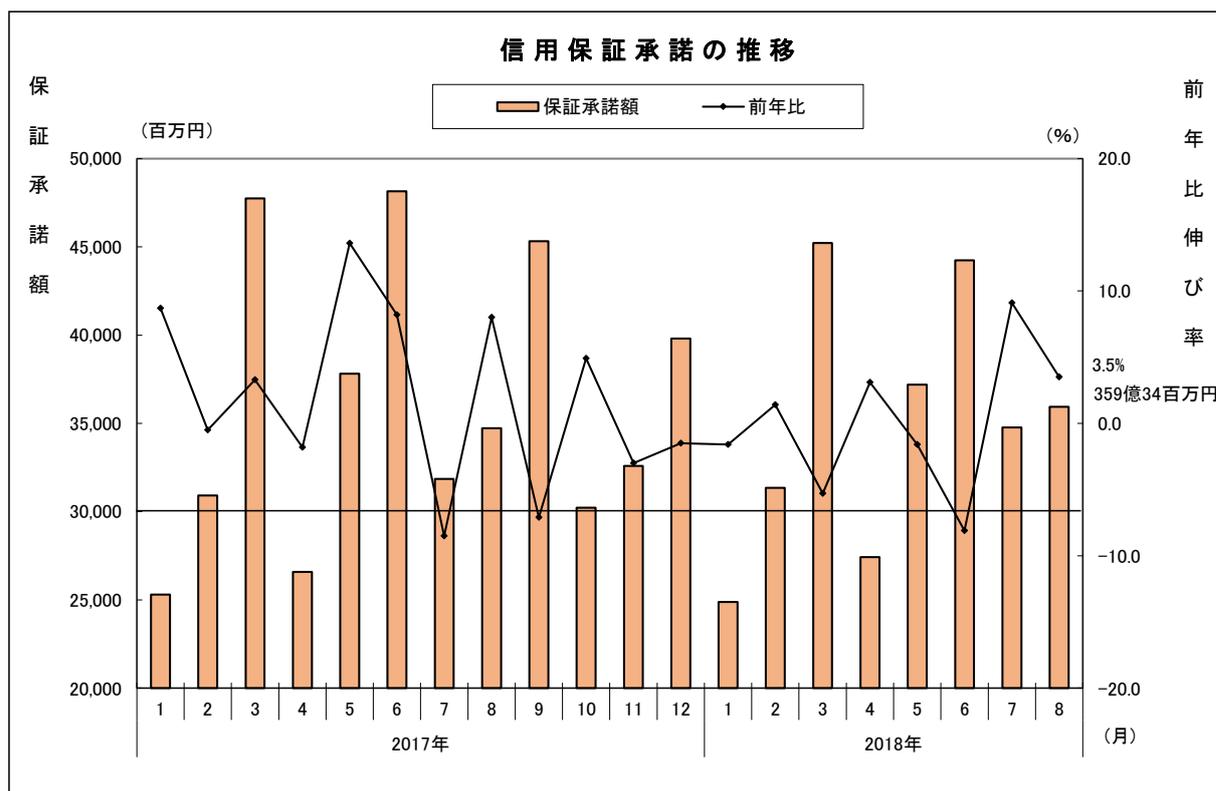
兵庫県信用保証協会による8月の保証承諾は、件数で2,214件(前年同月比1.2%減)、金額は359億34百万円(同3.5%増)となり、前年同月と比べ、件数は下回り、金額は上回った。

資金使途別では、運転資金34,007百万円(前年同月比5.4%増)、設備資金754百万円(同22.4%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」2,220百万円(前年同月比23.9%増)、「サービス業」5,533百万円(同15.9%増)、「建設業」9,793百万円(同13.3%増)、「小売業」4,263百万円(同12.0%増)等で前年同月を上回り、「飲食店」1,002百万円(同3.7%減)、「製造業」6,008百万円(同11.1%減)、「運送・倉庫業」1,616百万円(同13.2%減)、「卸売業」4,996百万円(同13.2%減)で前年同月を下回った。

8月末の保証債務残高は、91,956件(前年同月比0.4%減)、1兆950億83百万円(同0.7%増)となった。

一方、同月の代位弁済は、125件(前年同月比0.0%)、15億88百万円(同46.0%増)となった。



【金 融】

8月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

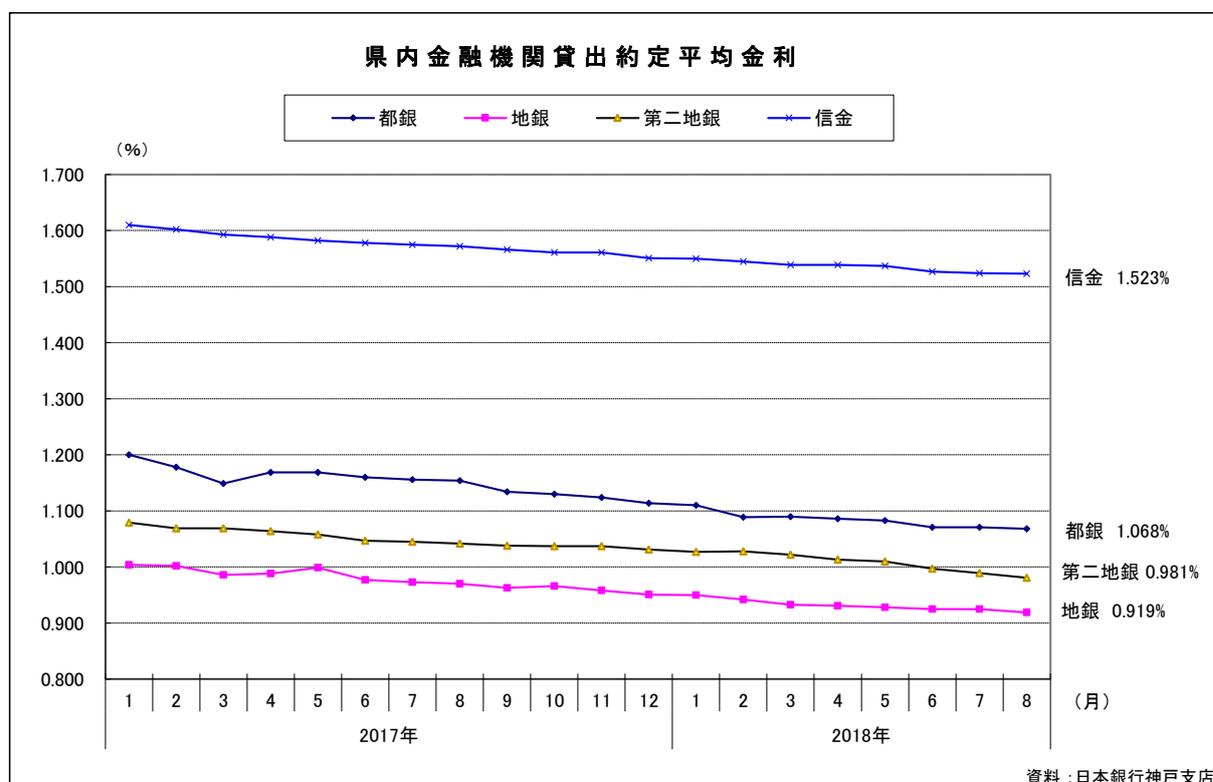
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	168,523	2.7	52,278	▲ 0.7
地 方 銀 行	28,475	0.9	29,221	6.9
第 二 地 方 銀 行	35,801	3.0	23,451	1.7
信 用 金 庫	87,706	1.7	40,164	1.3
そ の 他	18,458	2.3	17,288	▲ 0.2
計	338,963	2.3	162,402	1.5

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

8月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.3%増)

8月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比1.5%増)

8月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.183%、前月比▲0.004%ポイント)。



【倒産】

県内9月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は22件で前月比21件（26.66%）の減少、前年同月比21件（48.83%）の減少となり、負債総額は21億53百万円で前月比46億53百万円（68.25%）の減少、前年同月比85百万円（3.79%）の減少となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が15件（全体の68.2%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が11件（前年同月比10件減少）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が17件発生し、全体の77.3%を占めた。

2018年9月の倒産件数は、6か月連続で前年同月比では減少となり、負債総額は、10億円以上の大口倒産がなく、件数が少なかったことで本年度3番目に少ない水準となった。

当月も「小規模な倒産」が主流となり、業績不振・販売低迷から抜け出せない中小・零細企業の市場からの退場は続いている。

日本銀行神戸支店が10月1日に発表した兵庫県内の金融経済概況は、「管内の景気は、一部に台風などの天候の影響がみられるものの、基調としては緩やかに拡大している」とし、2月に引き上げた基調判断を7か月連続で据え置いている。

大手製造業を中心に景気拡大基調が続いており、当地の中小企業にもその恩恵を受けるところが少なくない。それらの企業は、足元の業績は堅調に推移しているものの、燃料、原材料価格の高騰や運送費の上昇、人手不足による稼働率の伸び悩み、人件費の高騰などにより、先行きの業績見通しには慎重なところが多い。また、景況感には依然業種間、企業間に大きな格差が見られる。この様な状況下、米国の保護主義的な通商政策の動向に注目が集まるほか、当面は夏場の天候不順、県下に甚大な被害をもたらした台風21号の影響などが大きな懸念材料となっている。基調として今しばらく、企業倒産が大きく増勢に転じるおそれは少ないと見られるものの、小規模・零細企業を中心に引き続き一進一退の状況が続くものと考えられる。

9月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	5	3	2	3	2	建設業	3	3	0	8	▲5
過小資本	1	2	▲1	3	▲2	製造業	1	2	▲1	2	▲1
連鎖倒産	0	1	▲1	1	▲1	卸売業	1	4	▲3	3	▲2
赤字累積	1	2	▲1	4	▲3	小売業	5	3	2	5	0
販売不振	14	22	▲8	32	▲18	情報通信業	0	0	0	0	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	11	16	▲5	21	▲10
その他	1	0	1	0	1	不動産・運輸業他	1	2	▲1	4	▲3
合計	22	30	▲8	43	▲21	合計	22	30	▲8	43	▲21

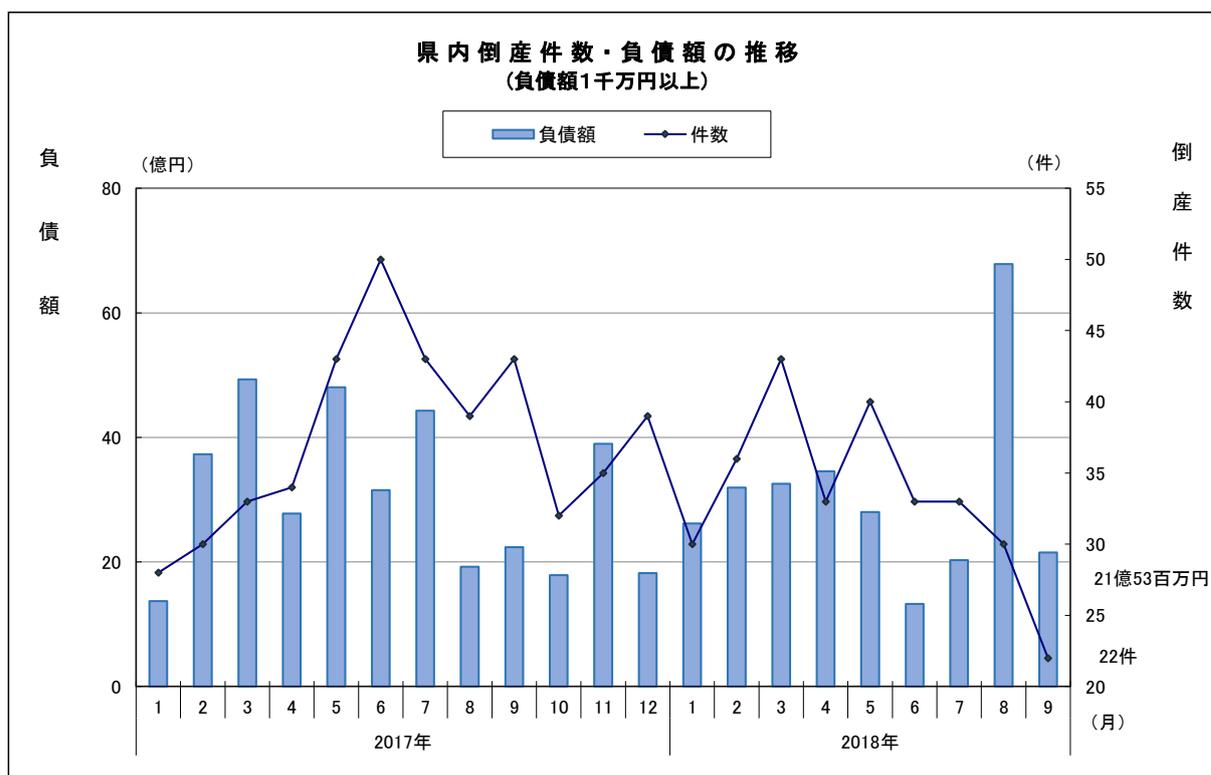
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年 月	総 数	神 戸	阪 神	西 播	東 播	但 馬	丹 波	淡 路
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 平均	36.1	12.8	12	4.5	4.9	0.8	0.5	0.5
29年 1月	28	8	9	7	4	0	0	0
29年 2月	30	14	9	2	3	1	1	0
29年 3月	33	12	8	4	6	2	0	1
29年 4月	34	14	10	4	3	0	2	1
29年 5月	43	20	14	4	2	2	0	1
29年 6月	50	16	20	4	5	4	1	0
29年 7月	43	17	12	8	5	1	0	0
29年 8月	39	14	8	9	4	2	0	2
29年 9月	43	11	20	8	2	1	0	1
29年 10月	32	7	8	7	7	1	0	2
29年 11月	35	14	7	6	4	1	1	2
29年 12月	39	15	12	1	7	1	1	2
30年 1月	30	12	4	6	5	2	0	1
30年 2月	36	18	6	5	5	2	0	0
30年 3月	43	15	16	5	5	1	0	1
30年 4月	33	11	8	7	7	0	0	0
30年 5月	40	17	12	9	2	0	0	0
30年 6月	33	13	6	4	3	3	2	2
30年 7月	33	10	12	6	4	0	0	1
30年 8月	30	11	15	1	2	0	1	0
30年 9月	22	9	7	0	3	1	2	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				百貨店売上高			乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月から)		全国 (既存店)	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)
29年 1月	94.0	△ 4.9	100.2	△ 0.4	162	△ 3.0	△ 1.1	13,816	1.4	4.4
2月	105.8	12.3	101.7	3.2	132	△ 4.1	△ 2.7	17,070	7.8	8.2
3月	97.2	△ 8.5	99.8	△ 1.9	157	△ 2.4	△ 0.8	23,033	11.6	9.6
4月	103.8	6.8	103.8	4.0	117.4	0.3	1.1	11,695	5.1	10.4
5月	100.8	△ 3.6	100.1	△ 3.6	117.7	△ 3.2	△ 0.6	12,649	12.9	13.4
6月	104.1	2.9	102.3	2.2	119.5	△ 0.5	△ 1.4	15,276	11.6	15.1
7月	96.3	△ 8.5	101.5	△ 0.8	144.7	△ 2.0	△ 0.2	13,775	0.0	2.6
8月	106.4	7.3	103.5	2.0	112.7	0.7	0.6	11,369	7.8	4.1
9月	94.6	△ 11.2	102.5	△ 1.0	106.9	△ 1.8	1.9	16,788	8.0	5.3
10月	103.1	8.4	103.0	0.5	116.4	△ 5.1	△ 0.5	12,413	△ 3.0	△ 1.2
11月	104.3	1.5	103.5	0.5	129.8	△ 0.4	3.6	13,241	△ 4.7	△ 2.7
12月	99.5	△ 5.1	106.5	2.9	188.7	△ 1.6	0.8	13,867	1.5	△ 0.8
30年 1月	97.4	△ 2.2	99.3	△ 6.8	132.0	△ 2.2	△ 0.1	13,913	0.7	△ 1.1
2月	100.7	3.4	102.1	0.0	105.5	△ 4.3	0.3	16,965	△ 0.6	△ 2.8
3月	104.0	△ 1.6	104.1	1.4	129.3	△ 1.1	0.9	22,808	△ 1.0	△ 3.6
4月	102.6	△ 1.5	104.6	0.5	112.4	△ 4.2	1.5	12,334	5.5	2.6
5月	100.4	△ 2.6	104.4	△ 0.2	108.3	△ 8.0	△ 1.2	12,780	1.0	△ 1.5
6月	100.9	0.0	102.5	△ 1.8	113.5	△ 5.1	4.0	14,570	△ 4.6	△ 5.3
7月	97.3	△ 4.0	102.3	△ 0.2	124.5	△ 14.0	△ 5.1	14,531	5.5	3.3
8月	101.4	3.5	102.5	0.2	106.7	△ 5.3	0.6	11,665	2.6	4.0
9月								16,654	△ 0.8	△ 3.3
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		日本百貨店協会		近畿経済産業局	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	新設住宅着工戸数			公共工事請負金額			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
29年 1月	3,297	6.0	12.8	168	40.1	7.1	3,457	△ 6.0	2,748	3.0
2月	3,190	47.8	△ 2.6	151	△ 56.4	10.4	4,820	11.4	2,194	△ 8.0
3月	2,403	△ 21.3	0.2	293	18.5	10.9	5,271	8.4	2,777	8.5
4月	2,976	△ 1.4	1.9	452	△ 31.0	1.7	4,531	1.4	2,664	12.6
5月	3,028	36.5	△ 0.3	278	△ 1.8	8.5	4,174	12.9	2,760	14.4
6月	2,848	△ 1.3	1.7	258	△ 42.8	△ 0.6	4,850	8.2	2,726	14.2
7月	2,918	△ 3.8	△ 2.3	230	△ 20.3	△ 5.4	4,585	9.0	2,619	14.7
8月	3,017	6.7	△ 2.0	204	△ 36.9	△ 7.9	4,607	17.5	2,792	20.1
9月	2,696	△ 16.7	△ 2.9	393	△ 0.4	△ 10.4	4,914	17.9	2,615	15.8
10月	2,771	△ 1.4	△ 5.3	319	△ 6.5	3.9	4,691	14.4	2,843	28.6
11月	2,766	△ 7.9	△ 0.4	157	△ 6.4	5.0	5,056	18.6	2,891	12.2
12月	2,993	4.3	△ 2.1	189	△ 4.9	△ 6.4	5,349	8.5	2,701	8.3
30年 1月	2,052	△ 37.8	△ 13.2	170	1.2	△ 12.8	4,067	17.6	3,026	10.0
2月	2,629	△ 17.6	△ 2.6	128	△ 15.3	△ 20.2	4,370	△ 9.4	2,713	23.6
3月	2,750	14.4	△ 8.3	298	1.5	△ 14.5	5,720	8.5	2,772	△ 0.2
4月	2,545	△ 14.5	0.3	418	△ 7.6	5.5	4,801	6.0	2,694	1.0
5月	2,440	△ 19.4	1.3	269	△ 3.1	3.5	4,660	11.6	3,109	12.7
6月	2,791	△ 2.0	△ 7.1	334	29.6	△ 5.6	5,266	8.5	2,788	2.3
7月	2,900	△ 0.6	△ 0.7	254	10.8	△ 2.9	4,886	6.6	3,053	16.5
8月	2,506	△ 16.9	0.3	202	△ 0.7	△ 2.2	5,074	10.1	2,884	3.2
9月				287	△ 27.0	△ 7.6	4,386	△ 10.8	2,425	△ 7.3
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県住宅地課		国土交通省	西日本建設業保証(株) 兵庫支店			神戸税関			

項目 年月	消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)				有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)	
	神戸市		全国		兵庫県 (季調値)	全国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)						
29年 1月	100.0	△ 0.4	100.0	0.4	1.20	1.43	1,051	0.0	101.3	1.4
2月	99.8	△ 0.3	99.8	0.3	1.22	1.43	1,045	△ 0.2	100.8	0.3
3月	99.6	△ 0.4	99.9	0.2	1.23	1.45	1,041	△ 0.1	102.7	0.6
4月	100.2	0.4	100.3	0.4	1.26	1.48	1,055	△ 0.3	103.8	1.7
5月	100.5	0.3	100.4	0.4	1.27	1.49	1,055	△ 0.5	102.0	0.8
6月	100.2	0.1	100.2	0.4	1.30	1.51	1,054	△ 0.8	102.3	1.4
7月	100.3	0.3	100.1	0.4	1.30	1.52	1,056	△ 0.4	101.6	0.0
8月	100.4	0.2	100.3	0.7	1.32	1.52	1,054	△ 0.3	101.7	0.6
9月	100.8	0.8	100.5	0.7	1.30	1.52	1,050	△ 0.5	102.9	1.3
10月	100.5	△ 0.2	100.6	0.2	1.31	1.55	1,052	△ 0.1	103.3	2.0
11月	101.1	0.5	100.9	0.6	1.32	1.56	1,053	0.1	102.9	0.3
12月	101.4	0.3	101.2	1.0	1.36	1.59	1,047	△ 0.4	103.3	1.0
30年 1月	101.5	1.4	101.3	1.4	1.36	1.59	1,066	△ 0.7	104.7	3.4
2月	101.2	1.4	101.3	1.5	1.38	1.58	1,068	△ 0.1	105.0	4.2
3月	100.9	1.1	101.0	1.1	1.38	1.59	1,065	0.2	105.9	3.1
4月	100.8	0.6	100.9	0.6	1.38	1.59	1,075	△ 0.3	108.0	4.0
5月	101.0	0.2	101.0	0.7	1.39	1.60	1,080	0.1	107.1	5.0
6月	100.6	0.4	100.9	0.7	1.43	1.62	1,080	0.2	107.8	5.4
7月	100.6	0.2	101.0	0.9	1.45	1.63	1,077	△ 0.3	106.7	5.0
8月	101.1	0.6	101.6	1.3	1.46	1.63	1,075	△ 0.3	106.8	5.0
9月	101.4	0.6								
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		総務省		兵庫県労働局		兵庫県統計課			

項目 年月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)		全国銀行 (年%)	倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数	
	指数	前年比 (%)			神戸 (件)				阪神 (件)	播磨他 (件)
29年 1月	97.7	0.5	158,185	1.4	0.996	28	13	8	9	11
2月	97.9	1.0	158,720	1.9	0.992	30	37	14	9	7
3月	98.2	1.4	163,048	1.2	0.982	33	49	12	8	13
4月	98.4	2.1	160,035	2.3	0.982	34	27	14	10	10
5月	98.4	2.1	160,253	2.8	0.976	43	48	20	14	9
6月	98.4	2.1	160,054	2.1	0.969	50	31	16	20	14
7月	98.8	2.6	160,032	1.6	0.965	43	44	17	12	14
8月	98.8	2.9	160,027	2.0	0.962	39	19	14	8	17
9月	99.0	3.0	161,682	2.1	0.955	43	22	11	20	12
10月	99.4	3.4	160,424	2.0	0.955	32	17	7	8	17
11月	99.8	3.5	160,904	1.9	0.954	35	38	14	7	14
12月	100.1	3.1	162,274	1.8	0.946	39	18	15	12	12
30年 1月	100.3	2.7	161,275	2.0	0.943	30	26	12	4	14
2月	100.3	2.5	161,910	2.0	0.940	36	31	18	6	12
3月	101.3	1.5	165,094	1.3	0.932	43	32	15	16	12
4月	100.4	2.0	162,625	1.6	0.929	33	34	11	8	14
5月	101.1	2.7	161,836	1.0	0.927	40	28	17	12	11
6月	101.3	2.8	162,911	1.8	0.921	33	13	13	6	14
7月	101.8	3.1	162,277	1.4	0.918	33	20	10	12	11
8月	101.7	3.0	162,402	1.5	0.917	30	67	11	15	4
9月	102.0	3.0				22	21	9	7	6
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値